

切望の言葉

2019年のグルマーイの誕生日のサツツァングで、花輪のように連なるナーマサンキールタナの間、参加者たちは四つの異なる言語による四つの言葉を聞きました。これらの言葉はそれぞれ、いかなる言語の表現をも超えていると言ってよい、切望の独特の性質を言い表しています。これらの言葉の響きとその特徴的な意味は、神と融合することへの心の切望を呼び起こします。

ゼーナン:このドイツ語の言葉は、人、場所、あるいは体験への強い切望を表します。19世紀の作家たちは、「ゼーナン」の意味をはっきりしない切望の説明しがたい感覚の表現へと拡大させました。

サウダージ:このポルトガル語の言葉は、数多くの歌や詩に大きなインスピレーションを与えてきました。それは、ほろ苦い憧れや愛する人を恋しく思うことの表現を可能にします。「サウダージ」は郷愁の色合いを伝えることの多い、深い切望です。

アビカーンクシャー:サンスクリット語の言葉で、その人の心にとってとても愛しい何かへの切望のさまざまな風味——穏やかだけれども一貫した望み——を含んでいます。ほとんど触れた人のいない何かへの明白な強い願望、そして特別なゴールへのたゆまぬ努力を表すのに使われます。「アビカーンクシャー」の意味は、「祈り」を表すもう一つの言葉として使われることもある、とても強い願望も表します。

メーヘーラー・ベー・イバーダトゥ:この美しいウルドゥー語のフレーズは、二つの単語の組み合わせです。メーヘーラーブは、戸口や廊下の上に目にするようなアーチを意味し

ます。イバーダトゥは、神への深い切望と愛からささげられる崇拝、憧憬(しょうけい)、祈りを意味します。つまりこのフレーズが示すのは、「崇拝のアーチ」または「祈りのアーチ」です。



© 2019 SYDA Foundation®. 著作権所有。